

2012.11・1



## 理事通信

2012~2013年度 No.5

### 理事主題 「創造 多様性を生かしてイノベーション」

Creative Innovation in Diversified Society.

副題 「“恵みを愛もて分かち合おう” “Share your blessings in love”

東日本区理事 駒田勝彦

錦秋の季節になりました。今期4か月が過ぎ各クラブの活動も軌道に乗ってきたことと  
思います。10月は毎週各部会が持たれました。それぞれ部長さんを中心にホストクラブ  
のご苦心があり、特色と和やかな交わりを感じました。都会では交流の機会がありますが、  
地方では部会が他のクラブとの年に一度の交わりの時でもあると思います。それぞれの良  
き交わりを大切に、明日への活力の源として心に記憶しておきましょう。また部会席上皆  
様方より心温まる沢山の東日本大震災支援募金をしていただきましたこと心より御礼申し  
上げます。

11月10日はY's Dayであり、第2回東日本区役員会が開催されます。ご協議いただき  
決めて行くことが明日の東日本区の礎になってゆくことと思います、ご協力よろしくお願  
いいたします。

#### <11月はワイズ理解・ファミリーファースト月間>

今月は「ワイズ理解とFF(ファミリーファースト)」の強調月間です。ワイズメンズクラブの特  
徴は、国際協会の国際憲法第2条第1項に定め  
ている綱領のとおり、イエスキリストの教えに  
基づく働きが他団体と違う点です。聖書は「あ  
なたがたは地の塩である」と言っています。ワ  
イズメンとして、自分自身を生かし、同時に誰  
か他者を生かすことができたとき、わたしたち  
は初めて地の塩となれるでしょう。私たちワイ  
ズの活動の中に、主イエスキリストの教えをど  
のように具現化できるか考えてみる機会としま  
しょう。11月10日のワイズデー(ワイズの  
日)に東日本区では、ファミリーファースト(F  
F)を実施し、家族で一食(目標は一家族500  
円)を抜いて、献金をお願いします。この献金  
はUGP献金に加えられ、STOP! HIV/AIDSなどの  
活動に使われています。皆さまのご協力をお願  
い致します

#### <10月の新入会者>

☆10月13日 田中 寛さん(東京八王子)  
☆10月16日 宮本 進さん(東京山手)  
☆10月17日 小野野彦さん(東京グリーン)  
☆10月19日 重信史郎さん(東京世田谷)  
入会おめでとうございます、ご活躍期待します。

#### <各部会報告>

##### 関東東部部会

第16回 関東東部部会は、9月29日(土)所沢  
市民文化センターで駒田勝彦東日本区理事以下  
15名の来賓をお迎えし、参加者52名+ワンダフル  
マジック6名、合計58名の参加で開催されまし  
た。記念公演は仙台 YMCA 前総主事 大野浩悦  
氏によって「東日本大震災—仙台YMCAからの報  
告」と題してなされました。臨場感のある報告から、  
息の長いサポートの大切さを教えられました。

なお、松下部長から仙台 YMCA 東日本大震災  
災害対策本部に当日集まった51000円を献金い  
たしました。また一本松と地福寺の植樹献金に集  
まった7600円は、後日送らせていただきました。

部会と懇親会との時間に“所沢航空発祥記  
念館”を見学していただきました。おりしも、今年  
は航空発祥100年の記念にあたり、タイムリーで  
した。懇親会では、近隣のボランティア団体“ワ  
ンダフルマジック”のショーを楽しんでいただき  
ました。「ワイズの和のばん傘」が久しぶりに披  
露され、20年前を懐かしみました。

第16回東日本区大会のホスト‘もりおかワイズ  
メンズクラブ’から三名の代表が来年度の大会の  
アピールをしてくださいました。

(部長・松下友紀)

## 東新部部会

第16回東新部部会は、2012年10月13日(土)、在日本韓国YMACで開催された。

今年は、『ユースビジョンを話し合おう』という事で、関彩也香さん(東日本区ユース代表・東京Y3代表)、石井悠紀子さん(Open Forum Y 実行委員・横浜Y3代表)、からの発言を受け、宮村東日本区ユース事業主任、目黒を交えて阪上実行委員長長の司会でシンポジウムを行った。

その中で、今のYsの事業には、若者が参加できる仕組みが整備されていない。また、今後のYsに対して次のような貴重な提言がされた。『ユースに新規事業を公募し、応募したユースのプロモーションを審議し、優勝者の事業にYSから投資をして欲しい。』との事でした。ユースから提案された事業の審議の過程で新規のCS事業が生まれる可能性も有ると感じました。当然その事業は、ユースが参加し易い事業となるように思えます。

今の若者の考えを聞く事により、Ys 若返りのヒントが得られれば良いと思います。

(部長・目黒勝彦)

## 湘南・沖縄部部会

湘南・沖縄部第16回部会は「コミュニケーションを深め、耕す土壌の活性化を！」を主題に10月6日(土)17時よりワークピア横浜を会場に66名の出席で開催されました。佐野真一氏(こどもの城事業本部長)による記念講演は、「脳イキイキ 超コミュニケーション術」～子どもを変える 社会を変える コミュニケーション～ 社会が変わった、子どもが変わった 現代の現象を語っていただきました。①遊ばない、遊ばない子ども達②大人化した子ども達から子ども化した大人たち…お化け屋敷など大人が遊びたいなど逆転現象(親が遊びたい) 子どもを変える 社会を変える キーワードは「コミュニケーション」である。

- ①相手を知る 情報化社会のコミュニケーション 顔のないコミュニケーション メール、めんどくさいことはやらないなど
- ②自分を知る 終りに、自分の好きな動物、その理由を書く。近くの人たちと自分の書いたのを見せあう。お互い納得するなどホットな時間を共有、コミュニケーションが深まる楽しみながらゲシュタルト心理学を行った。

懇親会は、もりおかワイズの方たちによる「第16回東日本区大会を盛り上げよう」のアピールタイムで盛り上げ、20時30分盛会裡に閉会した。

(部長・佐藤節子)

## あずさ部部会

第16回甲州街道あずさ部部会は、2012年10月20日(土)、甲州街道に面した八王子市の八王子エルシーで開催されました。出席者75名でした。第1部は部会で、あずさ部部長挨拶で始まり、クラブ会長の開会挨拶そして、来賓を代表して駒田東日本区理事による祝辞と続き、東日本大震災対策本部の菰渕ワイズよりパワーポイントでの東日本大震災支援報告がありました。直後に東日本大震災支援金募金を行い、募金額53,080円をあずさ部矢崎会計より、駒田区理事に献金しました。第2部は医療法人社団KNI 北原国際病院理事長による「病院が東北を救う日」として講演があり、演題名の著書も販売され、北原氏はそれに署名と共に「夢は必ず実現する」と本人の体験から記載されました。第3部は懇親会でテーブルでのビュッフェ形式をとり、種々のアピールを壇上から行いました。(部長・久保田貞視)

## 富士山部部会

富士山部部会は、10月28日(日)第35回が行われました。富士山部は東西がわかれるまえからのそのままの部です。部会の前に講演があり現在の青少年のおかれている環境について富士警察署 庄司晴代さんからスライドでの説明がありました。情報化社会の便利になる機器が思わぬ非行への入り口となりうるお話でした。少年たちの言葉に警察も困惑とのことです。その後富士見高校吹奏楽部による演奏があり親しみやすい(出席者の年齢に配慮)曲を演奏していただき皆さん癒されていました。部会は漆畑部長さんのも開会点鐘により始まり、昨年度の表彰が行われました。参加者85名でした。第3部はお待ちかね懇親会で交わりを深めました。

### <次期部長・事業主任研修会>

次期部長・事業主任研修会は10月27日(土)午後1時から18時まで、次期の内定事業主任・次期部長・理事キャビネット等30名の参加を得て日本YMCA 同盟会館で行われました。特に国際協会の変化、YMCAとの共働の再構築、健全化委員会の答申を受けての体質の改善、アカウンタビリティ等熱心な研修がなされました。

### <その他>

ロースターを見てダイレクトメールを送りつけている方がおられるが、との投書・苦情がありました。ロースターの取扱いは、ロースターの207頁に記載されている通りで、定款第2条の目的以外には、絶対に使用しないでください。また個人情報が出ないよう、ロースターの管理に細心の注意を払ってくださるようお願いいたします。